

ヒラメやカレイの眼

ヒラメやカレイなどカレイ^{もく}目の魚は、
眼^めがからだの片側に寄っています

ヒラメ・カレイの仲間は、平べったい体で、両方の眼が体の片方に寄っているという、変わった姿をしています。体のどちら側に眼が寄っているかは、種によって決まっています。ただし、少数ですが眼が体の右側に寄っている個体と左側に寄っている個体の両方が知られている種もあります。

一般に、ヒラメ科やダルマガレイ科などの仲間では、ほとんどの種で眼が体の左側に寄ります。逆にカレイ科などでは、ほとんどの種で眼が体の右側に寄ります。

ちなみに、ヒラメやカレイは、生まれた時には眼が体の両側にあり、普通の魚と同じ姿をしていて、海を漂う生活をしています。その後、次第に体が平べったくなっていき、それとともに片方の眼が移動していきます。だいたい1~2か月ほどで眼は完全に移動してしまっ、おなじみの姿となり、海底で暮らすようになります。

